

**地方紙の世帯普及率と県内スポーツ記事の比率との関係についての研究**  
**A study of the relationship between a local newspaper coverage and the ratio of a sports article**

1K05B505

丸山 翔平

指導教員 主査 リー・トンプソン先生

副査 宮内孝知先生

【序論】

本稿では、日本の地方紙におけるスポーツ報道を扱う。私が注目したのは、新聞紙はそれを購読する読者の動機が、読者を選択という行動に移らせるということだ。ここにスポーツがどう関係してくるのか、特に、地方紙とその土地にあるスポーツとの関係をみてみたい、そこからどのようなことが考えられるのか、というのがこの論文のテーマへの私の動機である。具体的には、地方紙の世帯普及率は県内スポーツ記事の比率が原因となっているという仮説を実証したいと考えている。

【研究方法】

調査対象は、その目的を考え、県内世帯普及率の大きい徳島新聞と、小さい茨城新聞である。徳島新聞は、徳島新聞社ホームページによると、2009 年 1 月現在、発行部数は朝刊 251,741 部、夕刊 52,593 部である。2008 年 10 月現在、徳島県内普及率は 82.05%で、これは各地方紙のなかで最も高い数字である。茨城新聞は、2007 年 5 月の時点での発行部数は 121,613 部、県内世帯普及率は 11.4%である。徳島新聞と茨城新聞の 2 紙の地方紙スポーツ面の記事のうち県内スポーツが占める割合と世帯普及率の関係を調べるために、スポーツ欄の記事を 県内、国内、海外に分類し、その割合を調べた。調査は、2008 年の 12 月から 2009 年の 5 月までの毎月曜日の朝刊スポーツ面で行った。このようにしたのは、日曜日にプロ・アマ問わず、より多くのスポーツが行われると考えたからである。この方法で世帯普及率の違いが大きい徳島新聞と茨

城新聞との比較をすることで、県内スポーツ記事の比率が世帯普及率に与える影響を導き出せると考えた。

【結果】

2008 年 12 月から 2009 年 5 月までの毎月曜日のスポーツ面記事内での県内記事の比率を示す。県内の割合は、徳島新聞が 32%、茨城新聞が 25%となり、徳島新聞が 7%上回った結果となっている。次に、県内スポーツ比率と世帯普及率の関係を示す。この地方紙 2 紙の傾向として、横軸の県内スポーツ比率が高くなるにつれ、世帯普及率も高くなっていることが確認することができる。

【考察】

本研究は、このことは、県内スポーツ記事の割合の大きさが世帯普及率の高さの一因である可能性を示しているのであろうか。県内スポーツ記事の割合が原因となり、世帯普及率が結果としたのが私の仮説であった。しかしながら、世帯普及率が原因となり、県内スポーツ記事の割合が結果となることも考えられるのである。ここでは世帯普及率と県内スポーツ記事の割合の間には、因果関係ではなく、相関関係が認められることにとどまる。

今回の私の研究の場合、少なくとも現在の世帯普及率を過去の県内スポーツ記事の比率で予測することと、現在の県内スポーツ比率を過去の県内スポーツ記事の比率を予測すること、そして、それらを比較することが必要であったということだ。すなわち、この論文の仮説の論拠は、それを裏付けるのに十分ではないというこ

となる。